



サフラン便り

第68号 26年4月15日発行

発行：佐賀県薬剤師会女性薬剤師部会

佐賀市本庄町大字本庄 1269-1

TEL:0952-23-8931 FAX:0952-23-8941

<http://www.sagayaku.or.jp/josei/index.html>

第6回佐賀県女性薬剤師交流会のお知らせ

いろんな立場の女性薬剤師の楽しいひとときを「さがレトロ館」で一緒にしませんか？



(さがレトロ館HPより)

日時：5月25日（日）11：00～14：00（予定）

場所：さがレトロ館（NHK佐賀・佐賀城本丸歴史館前）

11：00～12：00 アロマ講習とアロマジェル作り体験

12：00～14：00 会食

会費：3000円

近くの佐賀城本丸歴史館、大隈重信生家は入場無料です。

就業・未就業にかかわらず女性
薬剤師なら誰でも参加できます。
呼びかけをお願いします。

2014年度 日本女性薬剤師学術講演会 開催の御案内

テーマ：「なぜヒトは病気になるのか～進化医学に学ぶ脳と心の進化と疾病～」

多くの病気は、遺伝と環境の複雑な相互関係の上に成り立つと考えられています。

病気の成因は、進化の立場から考える必要があり、遺伝情報と種々の指標をもとに発症を抑える「先制医療」は近年注目されています。妊娠中から出生時までの母胎環境も含め、長く健康に過ごせるよう、医療の新しいあり方を一緒に考えましょう。

日時：平成26年6月29日（日） 10：00～16：25

会場：国際ファッションセンター（KFCビル）3階 東京都墨田区横綱1-6-1

受講料：7000円（事前申込6000円）

内容：①最近の医療行政について（厚生労働省大臣官房審議官 成田昌稔先生）

②進化医学から先制医療へ～薬剤師に望むこと～

（公益財団法人先端医療振興財団理事長 井村裕夫先生）

③発達障害の理解と支援（NPO法人えじそんくらぶ代表 高山恵子先生）

④家族の絆への科学的アプローチ～こころの臨床との接点～

（九州大学病院子どものこころの診療部特認講師 山下洋先生）

参加ご希望の方は、県薬でまとめて申し込みます。4月30日までに事務局にお知らせ下さい。

女性薬部会担当研修会報告

2/22 (土) 生涯学習研修会 参加者144名

講師：稲村 充先生 (株) リプロセル技術部 主任研究員

演題：ヒトiPS細胞の創薬応用

3/ 2 (日) 後期スクーリング講座 参加者93名

①小児ぜんそく 橋野こどもクリニック 院長 橋野かの子先生

②救急救命 佐賀消防署 救急一課 田原 則夫先生

③不整脈 佐賀大学医学部 循環器内科 教授 野出 孝一先生

④パーキンソン病 おそえがわ脳神経内科 七條 千佳先生

※アンケートの中から

- ・橋野先生のお話はとてもわかりやすく患者さんへの説明のポイントがわかりました。
- ・救急医療の問題をいろいろと知ることができた。お薬手帳の事など留意していきたい。
- ・不整脈の発現、治療に具体的でわかりやすくお話しただいて今まで解らなかったところが理解できてよかった。
- ・改めてパーキンソン病の治療の難しさを感じました。
- ・実際の医療現場、臨床で治療、処方にあたっておられる先生方からの生の治療について学ぶ事ができ、処方薬考察がより深まりました。
- ・会員の報告(小論文)生の声でとても良かったです。私もふだん調査を報告で形にすると身に付くと思いました。

3/15 (土) 生涯学習研修会 参加者101名

講師：堀内龍也先生 (一般社団法人日本病院薬剤師会顧問)

演題：これからの薬剤師の役割

一般社団法人日本女性薬剤師会 研修講座

平成26年度薬剤師継続学習通信教育講座 (旧診療ガイドライン・薬剤コース)

- ・現在受講者数は73名
- 一次募集は3月15日で締め切られましたが、二次募集で受け付けておりますので受講希望の方は佐賀県薬剤師会事務局までご連絡下さい。
- ・学習疾患スケジュール 平成26年4月 ワクチン/必要性和安全性
- 5月 睡眠障害/不眠の訴えにどう応えるか
- 6月 検査とくすり/危険性を上回る有効性?
- 7月 女性のライフサイクルと健康管理
- 10月 糖尿病/血糖コントロールの目標改訂!
- 11月 高齢者ケア/在宅医療と薬剤師
- 12月 腰痛・肩こり/筋肉・骨格・血行から予防法まで
- 平成27年1月 がんって何?/遺伝学的検査と新たな治療

<ちょっと一言>

私の一日の始まりは、早朝のわんこたちとの散歩からである。
柴犬のレイとチワワのメロディーを連れて、桜満開の円城寺公園に行くのだ。誰もいない桜吹雪が舞う公園を一周する至福の10分余り。寒さも遠のき、絶好の散歩日和だ。これから始まる一日の長い業務のためにかかせない充電のひとつときなのだ。 伊万里有田支部 緒方妙子

